

令和8年6月26日



守山市 記者提供 資料

担当部署	環境政策課
担当者	中江
電話	077-584-4691
FAX	077-584-4818

びわ湖水環境フォーラム 2026 in Moriyama

趣旨・目的

- ・日本とドイツの多方面にわたる文化交流を通して次世代を担う若者の育成に寄与するとともに、社会の持続的な発展に貢献することを目的に、立命館守山高等学校で持続可能な社会の実現に向けた「地域の水環境と暮らし」について考えるフォーラムが開催されます。当日は立命館守山高等学校の取組の紹介やドイツにおける水環境の課題としてテュービンゲン大学教授の講演、ポスターセッション、ネットワーキングがあります。

日時・場所(詳細は別紙実施要領にて)

- ・令和8年7月25日(土)
- ・午後2時から午後5時まで
 - 午後2時から午後3時25分：フォーラム
 - 午後3時35分から午後5時：ポスターセッション
- ・立命館守山中学高等学校

そのほか

- ・主催：一般社団法人山岡記念財団
- ・共催：立命館守山中学校・高等学校

水環境の課題に興味がある人必見!!!

参加費無料

びわ湖 水環境フォーラム 2026 in Moriyama

7.25_土

14:00-17:00

14:00-15:25 フォーラム

15:35-17:00 ポスターセッション

こんな方におすすめ!

- ✓ 水について知りたい!
- ✓ 琵琶湖について興味がある!
- ✓ 琵琶湖について語りたい!

立命館守山中学高等学校

お申込み方法

二次元コードまたは、WEBサイトからお願いします。

URL <https://yamaoka-memorial.or.jp/event/2026/0725-01.html>

※申し込み期限2026年7月23日(木) 11:00A.M.まで

定員数: 150人



主催・共催・後援

主催：一般財団法人山岡記念財団

共催：立命館守山中学校・高等学校

後援：滋賀県、守山市、守山市教育委員会、MLGS、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館
ヤンマーホールディングス株式会社

フォーラム(登壇者・内容)

琵琶湖保全の取組について

間野 智也

滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖保全再生課 主査

滋賀県は1970年代の「石けん運動」を始めとして、自治と連携の精神で琵琶湖を守り続けています。近年は水草や外来魚の対策に加え、琵琶湖版SDGs「マザーレイクゴールズ(MLGs)」を策定し、湖沼保全を世界に発信しています。

藻と人が共存する未来

野村 愛、平沼 心結、福富 さら

立命館守山高等学校

「藻と人が共存する未来」をテーマに、藻類が生態系および人間社会に与える影響について考察する。藻類がもたらす課題と価値の両面に着目し、堆肥などへの活用事例も踏まえながら、人と藻との共存の在り方について探究したことを発表します。

PFASによる環境への影響について

ピーター・グラートヴォール教授

チュービンゲン大学教授 理学部 土壌環境センター
(ドイツ連邦共和国・バーデン=ヴュルテンベルク州)

PFAS(有機フッ素化合物)は水や油を弾く便利な性質の一方で、自然界では分解されにくく、生態系や人体への影響が懸念されています。本講演では欧州の事例を交え、今後の規制動向と対策を判りやすく解説します。

ドイツのソーセージ
やバウムクーヘンも
食べれるかも!!!!!!

ポスターセッション

企業を含む各団体が、取り組みをポスターで紹介します。

ポスターブースを自由に回って、社会人の担当者とも交流ができます。

探究テーマや部活・ボランティア、進路のヒントに出会えるチャンスです!

(出展ブース一覧: 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター、株式会社堀場アドバンスドテクノ、ヤンマーホールディングス株式会社 他)

休憩時にはドイツの食べ物の提供も行います!



山岡記念財団について

ヤンマー創業者である山岡孫吉は、ドイツのルドルフ・ディーゼル博士が発明したディーゼルエンジンの小型実用化に成功し、世界中にディーゼルエンジンを普及させました。そのため、ヤンマーグループは、創業以来、ドイツの技術・文化への感謝の気持ちを継承し続けています。この感謝の念にもとづき、山岡記念財団は、日本およびドイツ両国の文化交流を通し、次世代を担う若者の育成に寄与するとともに、社会の持続的な発展に貢献することを目的としています。

アクセス情報

〒524-8577 滋賀県守山市三宅町250番地 立命館守山中学校・高等学校

JR守山駅西口より近江鉄道バス

「立命館守山線」「市民ホール線」「杉江循環線」にご乗車いただき「立命館守山・高校前」にて下車ください。

